



# 南町小だより

練馬区立南町小学校

令和4年 9月 1日

校長 星 美 登 里

つよく かしく あたたかく  
～ ありがとうを とどけます ～



体育館棟の工事は順調に進んでいます

## 歴史をつくるということ

校長 星 美 登 里

新型コロナウイルス感染症の予防に注意を払う必要があるとはいえ、3年ぶりに行動制限のない夏休みとなりました。お子様にとっても、久しぶりに様々な体験ができた有意義な夏休みとなったことでしょう。

この夏私は、3年ぶりに実施された全国高等学校野球選手権大会のテレビ観戦を楽しみました。もともと野球観戦が大好きで、この日を楽しみにしていました。横浜高校の主将・玉城陽希選手は、選手宣誓で、新型コロナウイルス感染症の予防などで思うように野球ができなかった苦しい時期に思いを馳せ、乗り越えることができたのは、「他でもないここに甲子園があったから」と述べていました。この言葉に象徴されるかのように、目標を高く掲げて努力してきた日々を信じ、その成果を出そうという意気込みと粘り強さをどのチームからも強く感じました。仙台育英学園高校が成し遂げた東北勢悲願の優勝、「優勝候補校」を次々と破った準優勝校・下関国際高校の大活躍……今年で第104回となる「高校野球」の歴史と共に、それぞれの高校で地道に「歴史」をつくってきたことの重みを感じました。

7月23日(土)、本校では「開校70周年記念座談会」を実施しました。開校当時本校の2年生だった、杉浦 亨様(練馬四丁目町会長)を始め、いろいろな世代の卒業生の皆様、これまでの節目の年にお世話になった地域や教職員の皆様9名にご参会いただきました。座談会には、6年生6名の子どもたちもインタビュアーとして参加しました。3つのグループに分かれて、それぞれのグループで子どもたちがお客様にインタビューした後、全体で情報や感想を共有をしました。子どもたちはとても興味深くお話を伺い、その時があるから今がある「学校の歴史」として感じていました。座談会の様子は、「開校70周年記念誌」に掲載いたします。

9月5日は開校記念日です。学校沿革誌によると、昭和26年5月に、開進第二小学校の二部授業を解消したいという地域の方々の願いで新しい学校の設置が決まったそうです。昭和27年(1952年)9月1日、2学期の始業式、9月5日に開校記念式が実施されました。この日が後に開校記念日になったのです。今年の9月5日(月)の全校朝会には、杉浦様から直接、子どもたちに開校当時の様子等のお話をいただく予定です。

学校の日々の歴史は、学校の校風となり、伝統となっていきます。南町小学校の良き校風を、開校70周年の今年、奇跡的ともいえる偶然の出会いをした子どもたち一人一人と共に、また今日から積み重ねていきます。